



2020年度 法学部優秀論文賞

法学部の専門演習（ゼミ）における演習論文について審査を行った結果、以下の論文6本が法学部優秀論文賞として選ばれました。

政治部門

『日本アジア航空の誕生—日中航空協定交渉における運輸省の消極的な抵抗の影響』

中川 倫梨子（政治学科4年）

『マンション再生—長寿命を実現する管理』

小山 大輝（政治学科4年）

『スローシティとスマートシティの融合の可能性—両者の相反点の解消を検討する』

今田 海斗（政治学科4年）

法律・国際企業関係法部門

『いわゆる『人役権』の立法可能性に関する序論的考察—ドイツ法的見地・わが国の起草者意思および学説の展開を手がかりとして』

遠藤 久宜（法律学科3年）

『『身体障害者雇用促進法』における障害者の権利保障—立法過程の検討を通して』

西部 杏梨（政治学科4年）

『沖縄におけるDV対策とその課題—飲酒の関連性と加害者更生』

福治 穂奈実（法律学科5年）

2021年3月

法学部長 猪股 孝史

